

日本語・日本文化研修留学生 修了レポート中間報告会

2016年1月26日(火)13:30~15:30

文教育学部1号館 1階 第一会議室

※終了後、16:30まで茶話会を開催します。(当日ご案内いたします)

日本語・日本文化研修留学生(日研生)とは、日本政府(文部科学省)奨学金留学生として、日本の大学において高度な日本語能力及び日本事情、日本文化の理解の向上のための研修を受ける外国人留学生です。

本学で2015年度後期から学んでいる7名の日研生がさまざまなテーマで発表を行います。

本学教職員・学生はどなたでも、報告会・茶話会のお問合わせ・事前申し込みはグローバル教育センター global-kyoumu@cc.ocha.ac.jpに、1月12日(火)までにご連絡ください。お申し込みがない方でも当日のご参加をお待ちしております。お時間の許す限り、ぜひご来場ください。



発表者	タイトル
金智賢(キム・ジヒョン) [韓国]	日本の広告から考える女性観の変化
クリツカ・カロリナ [ポーランド]	現代の日本人と歌舞伎： 若者の歌舞伎への興味
チャンドラチュード・サムルッダ [インド]	職場における非言語行動： インドと日本の比較
アンドレア・オニオアエア [ルーマニア]	若者言葉： 日本人でもわからない？
バハル・ブシュラー [トルコ]	日本人から見たイスラーム教
チュオン・ティ・クイン・アイン [ベトナム]	漢字と日本人の創造性
ゾーイ・アリス・ウィンバーン [アメリカ]	現代に生きる盆栽